

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ガーラ

コード番号 4777 URL <http://www.gala.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO

(氏名) 菊川 暁

問合せ先責任者 (役職名) 国内子会社管理部門担当部長

(氏名) 藤田 公司

TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	331	△21.6	△135	—	△120	—	△125	—
26年3月期第2四半期	424	△68.1	△182	—	△144	—	△188	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △142百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △236百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△9.48	—
26年3月期第2四半期	△17.68	—

※当社は、平成25年10月1日付で1株を100株に分割いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	685	282	37.0	17.98
26年3月期	680	222	28.4	14.81

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 253百万円 26年3月期 193百万円

※当社は、平成25年10月1日付で1株を100株に分割いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予想の公表を差し控えさせていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	14,112,900 株	26年3月期	11,173,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	13,249,490 株	26年3月期2Q	10,665,076 株

※当社は、平成25年10月1日付で1株を100株に分割いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、P. 3「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、決算発表後にホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高331,956千円（前年同四半期比21.9%減）となり、大幅な減収となりました。

これは、オンラインゲーム事業の売上高が減少し、スマートフォンアプリ事業の売上高が収入貢献に至らなかったことによるものであります。

また、従前より販売費及び一般管理費の削減を進めているものの、スマートフォンアプリ事業の開発費用の計上により、営業損失135,499千円（前年同四半期営業損失182,325千円）、経常損失120,272千円（前年同四半期経常損失144,389千円）四半期純損失125,592千円（前年同四半期純損失188,561千円）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度に米国子会社Gala Innovative Inc.の事業活動を休止したため、第1四半期連結累計期間から同社を「日本」セグメントに含めております。これにより、第1四半期連結会計期間から「米国」セグメントはありません。

なお、前年同四半期のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## ① 日本

日本セグメントでは、主な売上高は国内子会社(株)ガーラウェブのその他事業（ホームページ制作・保守、コミュニティ関連サービス）となりました。ホームページ制作・保守につきましては、企業のコスト削減意識が継続しており、売上高は減収となりました。

スマートフォンアプリ事業においては、(株)ガーラポケットにおいて、当第2四半期連結会計期間に恋愛シミュレーションゲームアプリ「もしカノ もしも彼女が・・・」及び「Supermagical（スーパーマジカル）」Android日本語版も当第2四半期連結会計期間にサービスを開始いたしました。なお、既存のゲームアプリ「Supermagical（スーパーマジカル）」iOS英語版はアプリ提供期間の経過に伴い、売上高は自然減となりました。

また、当社において当連結会計年度から韓国連結子会社に対する、オンラインゲームのキャラクター利用料を内部取引として収入計上しております。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は87,924千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で7,350千円（7.7%）の減収となり、セグメント損失が107,604千円（内部取引を含む。前年同四半期は188,407千円の損失）となりました。

## ② 韓国

韓国セグメントでは、Gala Lab Corp.のオンラインゲーム事業で主力ゲームの「Flyff Online（フリフオンライン）」及び「Rappelz（ラペルズ）」において、当第2四半期連結会計期間にアップデートを実施したものの当第2四半期連結累計期間では売上高が減少いたしました。スマートフォンアプリ事業では、既存ゲームアプリ「Dungeons & Golf（ダンジョンズ&ゴルフ）」の売上高が期待値から大きく乖離した状態が継続しており、新規パズルゲームアプリ「Flyff Puzmon（フリフパズモン）」の提供を開始いたしました。韓国セグメントの売上高は289,802千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で68,633千円（19.1%）の減収となり、セグメント損失が36,033千円（内部取引を含む。前年同四半期は15,058千円の利益）となりました。

なお、Gala Lab Corp.においてはスマートフォンアプリ事業でゲームアプリ「Dungeons & Golf（ダンジョンズ&ゴルフ）」の改良及びオンラインゲーム「Flyff Online（フリフオンライン）」を題材とする複数のスマートフォンゲームアプリの開発を進めており、当第2四半期連結会計期間より順次サービスを開始しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて59,647千円増加し、282,549千円となりました。

主な増減は、資産では現金及び預金が12,497千円減少し、売掛金が14,644千円増加いたしました。負債では短期借入金が11,931千円増加し、未払金が56,053千円減少し、前受金が16,533千円減少し、前受収益が17,668千円減少し、長期前受収益が38,848千円増加し、長期預り保証金が10,292千円減少いたしました。純資産では資本金及び資本準備金が101,627千円増加し、利益剰余金が125,592千円減少し、また、為替換算調整勘定が17,194千円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失345,971千円及び当期純損失263,277千円を計上しております。また、当第2四半期連結累計期間においても売上高は331,956千円、前年同四半期比21.9%減少となり、営業損失135,499千円及び四半期純損失125,592千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況等を解消し、又は改善するための対応策として、① スマートフォンアプリ事業のグローバル展開に当社グループの経営資源を集中させるため、組織体制の見直し及びグループの再編の実施、② グループ全体で組織体制の見直し及び大幅な人員削減の実施、③ 資金繰りについて取り組んでおります。

当社グループの対応策の詳細は、「4. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(継続企業の前提に関する注記)」に記載しております。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	424,648	412,151
売掛金	71,530	86,175
前渡金	35,000	34,740
その他	38,210	31,260
貸倒引当金	△303	△255
流動資産合計	569,085	564,071
固定資産		
有形固定資産	2,940	6,161
無形固定資産		
ソフトウェア	149	303
その他	136	120
無形固定資産合計	286	423
投資その他の資産		
投資有価証券	3,407	3,403
長期貸付金	91,284	96,545
破産更生債権等	23,062	23,062
敷金及び保証金	10,922	8,089
その他	28	3,834
貸倒引当金	△20,303	△20,303
投資その他の資産合計	108,402	114,631
固定資産合計	111,629	121,216
資産合計	680,715	685,288
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,195	5,764
短期借入金	-	11,931
1年内返済予定の長期借入金	11,520	4,120
未払金	87,402	31,349
未払費用	54,563	54,041
前受金	45,384	28,850
前受収益	40,411	22,743
未払法人税等	1,482	745
賞与引当金	3,674	3,674
その他	4,497	5,806
流動負債合計	259,129	169,025
固定負債		
長期前受収益	71,906	110,755
繰延税金負債	55	54
退職給付に係る負債	69,120	75,596
長期預り保証金	57,600	47,307
固定負債合計	198,683	233,713
負債合計	457,813	402,739



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,401,373	2,503,001
資本剰余金	929,832	1,031,460
利益剰余金	△2,666,197	△2,791,790
株主資本合計	665,009	742,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	97
為替換算調整勘定	△471,887	△489,082
その他の包括利益累計額合計	△471,787	△488,984
新株予約権	29,679	28,861
純資産合計	222,902	282,549
負債純資産合計	680,715	685,288

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	424,934	331,956
売上原価	125,156	90,804
売上総利益	299,778	241,151
販売費及び一般管理費	482,103	376,650
営業損失(△)	△182,325	△135,499
営業外収益		
受取利息	2,006	6,295
為替差益	36,003	9,443
その他	2,219	614
営業外収益合計	40,229	16,353
営業外費用		
支払利息	2,281	1,058
その他	12	68
営業外費用合計	2,294	1,126
経常損失(△)	△144,389	△120,272
特別利益		
新株予約権戻入益	4,166	304
契約解除益	3,506	-
特別利益合計	7,672	304
特別損失		
減損損失	15,952	-
本社移転費用	2,164	-
特別損失合計	18,116	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△154,833	△119,968
法人税、住民税及び事業税	10,513	5,624
過年度法人税等	23,215	-
法人税等合計	33,728	5,624
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△188,561	△125,592
四半期純損失(△)	△188,561	△125,592

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△188,561	△125,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△2
為替換算調整勘定	△47,616	△17,194
その他の包括利益合計	△47,612	△17,197
四半期包括利益	△236,174	△142,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△236,174	△142,790

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△154,833	△119,968
減価償却費	9,464	1,111
減損損失	15,952	-
株式報酬費用	7,049	2,709
賞与引当金の増減額(△は減少)	△900	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	131	△56
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,495	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	1,393
受取利息及び受取配当金	△2,006	△6,295
支払利息	2,281	1,058
新株予約権戻入益	△4,166	△304
契約解除益	△3,506	-
売上債権の増減額(△は増加)	53,556	△5,696
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,048	△4,430
前受金の増減額(△は減少)	△2,619	△19,141
その他	△73,799	△52,572
小計	△174,939	△202,192
利息及び配当金の受取額	1,705	6,295
利息の支払額	△7,687	△4,290
法人税等の還付額	1,945	6,904
法人税等の支払額	△50,532	△6,389
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△229,507</b>	<b>△199,672</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	51,315
有形固定資産の取得による支出	△2,400	△4,193
有形固定資産の売却による収入	121	489
無形固定資産の取得による支出	△1,270	-
差入保証金の差入による支出	△11,272	-
預り保証金の受入による収入	4,450	-
貸付金の回収による収入	3,895	1,354
投資その他の資産の増減額(△は増加)	-	△13,798
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,476</b>	<b>35,166</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△18,200	11,583
長期借入金の返済による支出	-	△8,000
株式の発行による収入	88,550	200,032
その他	245	△325
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>70,595</b>	<b>203,290</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,843	157
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△206,232</b>	<b>38,942</b>
現金及び現金同等物の期首残高	315,956	373,208
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>109,723</b>	<b>412,151</b>

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

当社及び連結子会社(以下、「当社グループ」という。)は、前連結会計年度において営業損失345,971千円及び当期純損失263,277千円を計上しております。また、当第2四半期連結累計期間においても売上高が前年同四半期に比べ21.9%減の331,956千円となり、営業損失135,499千円及び四半期純損失125,592千円を計上しております。現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンアプリ事業において平成25年4月にライセンス取得したアプリのグローバル展開において、Gala Lab Corp.で改良を進めており、より良いサービス提供に向けて準備を進めております。また、Gala Lab Corp.では自社開発のオンラインゲームを題材としたスマートフォンゲームアプリの開発及びサービス提供も進めております。㈱ガーラポケットでも新規アプリの開発、サービス提供及び新規ビジネスとして国内ゲームアプリの海外展開サポートを開始しており、外国人向けの日本アドネットワークの構築準備も進めております。今後もアプリタイトルの増加や新規ビジネスによる収益力の向上を図ってまいります。

また、グループ全体で大幅な人員及び経費の削減を実施し、スリム化を図っております。今後も必要に応じて経営の効率化を図るため、組織体制及び人員配置の見直しを実施してまいります。

資金繰りにつきましては、前連結会計年度に第三者割当増資及び新株予約権の発行により当面の事業資金を確保し、当第2四半期連結累計期間には新株予約権の行使による払込もありましたが、当面の厳しい事業環境を乗り越えるべく、取引金融機関に対して新規借入について引続き協議を進めるなど、資金調達も検討してまいります。

以上の施策を実施するとともに、今後も引き続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直し、スマートフォン向けアプリの開発の進捗状況、市場投入の時期、市場での競争激化による環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の著しい変動

当社は平成25年9月17日付で、菊川曉氏(当社代表取締役)から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が44,275千円、資本準備金が44,275千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が、2,215,857千円、資本剰余金が744,316千円となっております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の著しい変動

当社は平成26年7月18日、平成26年9月4日、平成26年9月8日及び平成26年9月18日にO a kキャピタル㈱から新株予約権の行使による払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が101,627千円、資本準備金が101,627千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が、2,503,001千円、資本剰余金が1,031,460千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	76,063	348,871	424,934	—	424,934
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,210	9,564	28,775	△28,775	—
計	95,274	358,435	453,710	△28,775	424,934
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△188,407	15,058	△173,349	△8,975	△182,325

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△8,975千円は、セグメント間取引消去△8,975千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において15,952千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	45,764	286,191	331,956	—	331,956
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,159	3,610	45,770	△45,770	—
計	87,924	289,802	377,726	△45,770	331,956
セグメント損失(△)	△107,604	△36,033	△143,638	8,138	△135,499

(注) 1. セグメント損失の調整額8,138千円は、セグメント間取引消去8,138千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度に米国子会社Gala Innovative Inc.の事業活動を休止したため、第1四半期連結累計期間から同社を「日本」セグメントに含めております。これにより、第1四半期連結累計期間から「米国」セグメントはありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## (重要な後発事象)

## 新株予約権の行使による新株式の発行

当第2四半期連結累計期間終了後、平成26年10月1日に、第2回新株予約権の一部について権利行使がありました。当該権利行使の概要は次のとおりであります。

(1) 発行した新株式の種類及び数	当社普通株式	266,000株
(2) 払込金額	1株当たり	188円
(3) 払込金額の総額		50,008,000円
(4) 増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金	25,406,990円
	増加した資本準備金	25,406,990円
(5) 資金使途	連結子会社 ㈱ガーラポケット及びGala Lab Corp. のスマートフォンアプリ事業資金	

これにより、平成26年10月1日時点で資本金2,528,408千円、資本剰余金1,056,867千円となりました。